

民進党・市民連合

代表 小山 征三 ・ 副代表 西野 茂樹
幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

一般質問(小山征三議員)

- 政治姿勢
 - 旧駅前商業ビル エガオの現状と今後について
 - 市民ホールの建設について
- 防災対策
 - 避難所の機能と役割について
 - 都市ガスの事故対策について
- 指定管理者制度について



小山征三 議員

<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

★ エガオ問題の早期解決を！

平成26年4月にエガオビルを運営するサンプラザが事業を停止、一度は地裁から破産申請が却下されたものの平成28年4月に破産が確定しました。しかし、権利者のうち2人の交渉が進んでいないことからこれまでの経過と今後について市側の姿勢をただしました。

市側は、建物の99.5%、土地の83.39%を既に保有していることを明らかにしました。また、岩倉市長は、時間をかけるつもりはないが、100%同意をもらおうべく努力を重ねるとしました。

★ 避難所の熱源確保は？

避難所となる公共施設の多くが

都市ガスを供給していることから熱源の確保策として、東京都が示している「災害時におけるLPGガスの活用に関する検討」を参考に進めるべきであると市側に今後の対応を求めました。

一般質問(岩田 薫議員)

- 政治姿勢
 - JR北海道単独維持困難路線について
 - 国道276号線緑線橋かけかえと中央インターチェンジについて
- ほい捨て条例について
- 学校トイレの洋式化について
- AEDの設置状況について



岩田 薫 議員

★ 東胆振一市四町で意見交換

平成28年11月18日に、JR北海道が単独での維持が困難な路線を発表し、苫小牧市に関連する2路線が含まれていたことから、市としては、一市四町の枠組みで意見交換するとともに、JR北海道に対し、貨物も含め具体的対応を求める事としました。

国道276号線緑線橋のか

けかえ工事は、工期や工法が具体的にない事が明らかとなり、市民生活に大きな影響があることから、早期に示す事を求める事としました。

学校トイレの洋式化について、全国的に進んでいない中、苫小牧市としても、重要な課題として捉えているとしました。

ほい捨て条例では、平成28年4月に新設したポスターが、一定の効果があることから、新年度増設する事となりました。

西野茂樹議員の質疑

★ 建設常任委員会

災害によって都市ガスが供給停止になった場合の緊急な熱源を確保させる観点から、公共施設での一般用途の熱源として、LPGガスを採用させる事は、安全・安心の面からも必要な対策です。会派として、必要性を強く市側に求め検討する事が示されました。



★ 総合開発特別委員会

相次いで発生している東港のガン

トリックレーンの事故については、防止対策が示された矢先の11月に再び事故が発生しました。質疑では、事故原因と事故責任の解明、さらに事故防止策の厳格な徹底を求め、市側から事故防止対策の再検証を行う事が示されました。

松尾省勝議員の質疑

★ 鳥インフルエンザの対応

苫小牧市で初となる「高病原性鳥インフルエンザウイルス」が検出され、市民への予防対策の周知が示されました。厚生常任委員会では、様々な調査結果を基に、野生動物がウイルス伝播に参与していることを指摘し、農場等への対応強化やウイルスの拡散防止、また、必要に応じ、消毒機材の配置拡大など、国や道との連携強化を要望しました。

また、今後の対策として、市独自の対応マニュアルの必要性についても、ヒトへの感染例など、他都市の事例を調査し、反映できる体制を構築するよう提案しました。

